学校だより

和納小学校

皆様には既に旧聞に属することになってしまいましたが、去る六月六日、当和納小学校の出火に際し、一般村民の皆様、特に関係各方面の皆様には、ほんとうに多大なご迷惑をおかけしました。それにも拘らず、その後校舎の復旧工事を中心として、物心両面に亘る厚い真心こもる激励ご援助をお寄せ頂きました。改めて心から深く御礼申しあげます。そこで、この広報紙面をおかりして、当日出火の概況とその対策、事後の反省点等を掲載し、再びかかる事態を招来させぬよう、その自誡への資料の一端としたいと思います。

○概況……六月六日午後二時四十分頃（第六校時授業中）、教務室の窓越しに出火現場を目撃したので、直ちに非常ベルを鳴らし児童への避難命令を発しました。同時に在室職員に初期消火と消防署への連絡を命じ、一方校舎を一巡して全児童の避難完了を確認し、避難場所であるグランドへ急行、各学級児童の全員異状なしを確認しました。その後直ちに男職員と共に初期消火の応援にかけつけたが、その間、隣接役場職員、附近の一般地域民の応援や消防署による消火活動の結果、出火後約二十分で鎮火しました。鎮火後全校児童を教室にもどし、適切な指導を与えて後、下校させました。

○対策……直ちに村教育委員会に対する経過説明と復旧工事に対する意見を具申しました。直ちに招集された臨時教育委員会に校長が出席して、出火より鎮火までの学校のとった処置を説明して、早急に復旧工事を進めていただきたい旨お願いしました。（復旧工事は翌七日より着工というスピードぶりでありました。）一方校内では、学校防護及び生活指導に関する反省と再検討を加えました。

○反省……この度びの出火から、各方面に亘る反省点を検討し、次のような項目でまとめて見ました。

(1)火害発生時における処置について。(イ)初期消火に主力が向い過ぎ、消防署への連絡が遅かった。また「火災報知器」の作動に依存し過ぎた心理的盲点が暴露された。(ロ)児童の誘導については大体当を得た結果であったが、もっと常に実戦的な訓練の必要が重要と思う。(ハ)特殊児童の把握には常日頃特に細心の注意を要する。

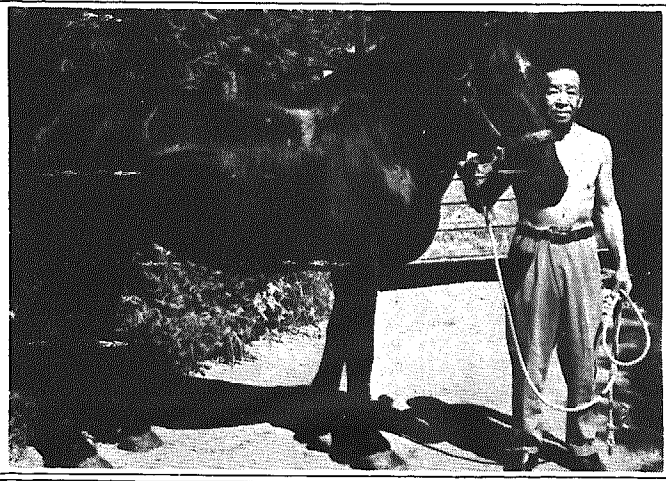
(2)生活指導上の諸問題について。(イ)特に学級主任は常日頃、ひとりひとりの児童をきめ細かく観察しその様態を確実に把握しておくことが一段と大切であることを痛感した。(ロ)出張等で、直接指導の現場を離れる場合は引き受け者に充分連絡をとるなどの処置を、更に徹底励行することが大切であるということ。(ハ)地域における子どもひとりひとりの様態なども確実に把握しておく努力を怠ってはならない点、校外生活指導のあり方について、更に深く反省させられました。

(3)物件の構造上の観点から。(イ)学校環境全体を防火上の観点に立って再点検を実施することの重要性を痛感しました。当校では、いわゆる「死角」に属するような盲点となる場所や物件が、意外と各処に散在しています。早急に整理し、管理の徹底を図るよう目下整備中でもあります。

以上の反省点をもとにしながら学校教育計画全体に反省のメスを加え、更に、学校環境全体の再点検を実施して、再びかかる不祥事の生じないよう努力をしていきたい。幸に被害が軽微であったため、翌日からの授業にまったく支障がなかったことは、不幸中の幸であったと思って居ります。今後、これを、生きた教訓として、全職員一致協力して教育実践に取り組む覚悟であります。皆様の、今後とも変らぬご指導を、重ねてお願い申しあげます。

岩室村最後の馬

—朝日号—



農耕用、荷役用として岩室村には最高時は四七〇余頭の馬が飼育され農作業に重要な役割をはたしてきたが、動力機械の時代におされ年々急激に減少し、岩室村最後の馬となった猿ケ瀬小林藤作さんの〝朝日号〟も、望まれて木材搬出に一役をかわれ、七月二十日に小林家を去りました。

八才のときに家族の一員となり八年間家族同様にして農作業のほか、木材搬出に活躍してきたが、今惜まれながら朝日号を見送る家族の方々をはじめ部落民に送られながら、永遠の別れともなれば惜別の情を禁じ得ないものが光っていた。

おめでた　おくやみ　6月30日まで

婚姻の部

氏名	前住所	新住所
山岸（佐藤）登喜夫・正子	潟東村	和納8
永塚（石田）農夫・初美	和納8	富岡
富岡燕・市	富岡	富岡

出生の部

氏名	生年月日	保護者	部落
笹川泰秀	5・6	正治	和納八
高村佳子	5・25	忠義	金池
稲村志保	5・28	正見	富岡
笠原正明	5・30	昭一	和納一
曽田奈美子	5・31	明	和納二
亀山真理	6・2	昇	和納七
柏木彰	6・7	武	間瀬二
富沢元夢	6・8	葵	新谷
池上麻理	6・14	義一	和納四
阿部暁美	6・15	公男	油島
坂上千里	6・15	敏男	和納三
大平洋	6・15	広紀	西中
吉田努	6・18	英夫	岩室
堀沢めぐみ	6・20	伊佐夫	久保田

死亡の部

氏名	年令	死亡月日	世帯主	部落
幸村平治郎	92	6・9	芳江	間瀬一
金子周平	63	6・11	正義	富岡
遠藤キソ	81	6・13	元旦	夏井
伊藤トメ	72	6・20	仁三郎	和納六
和田ヨシ	88	6・28	タマ	岩室